

【案】

# あいちICTアクションプラン2015 年次レポート（最終版）

2016年 月



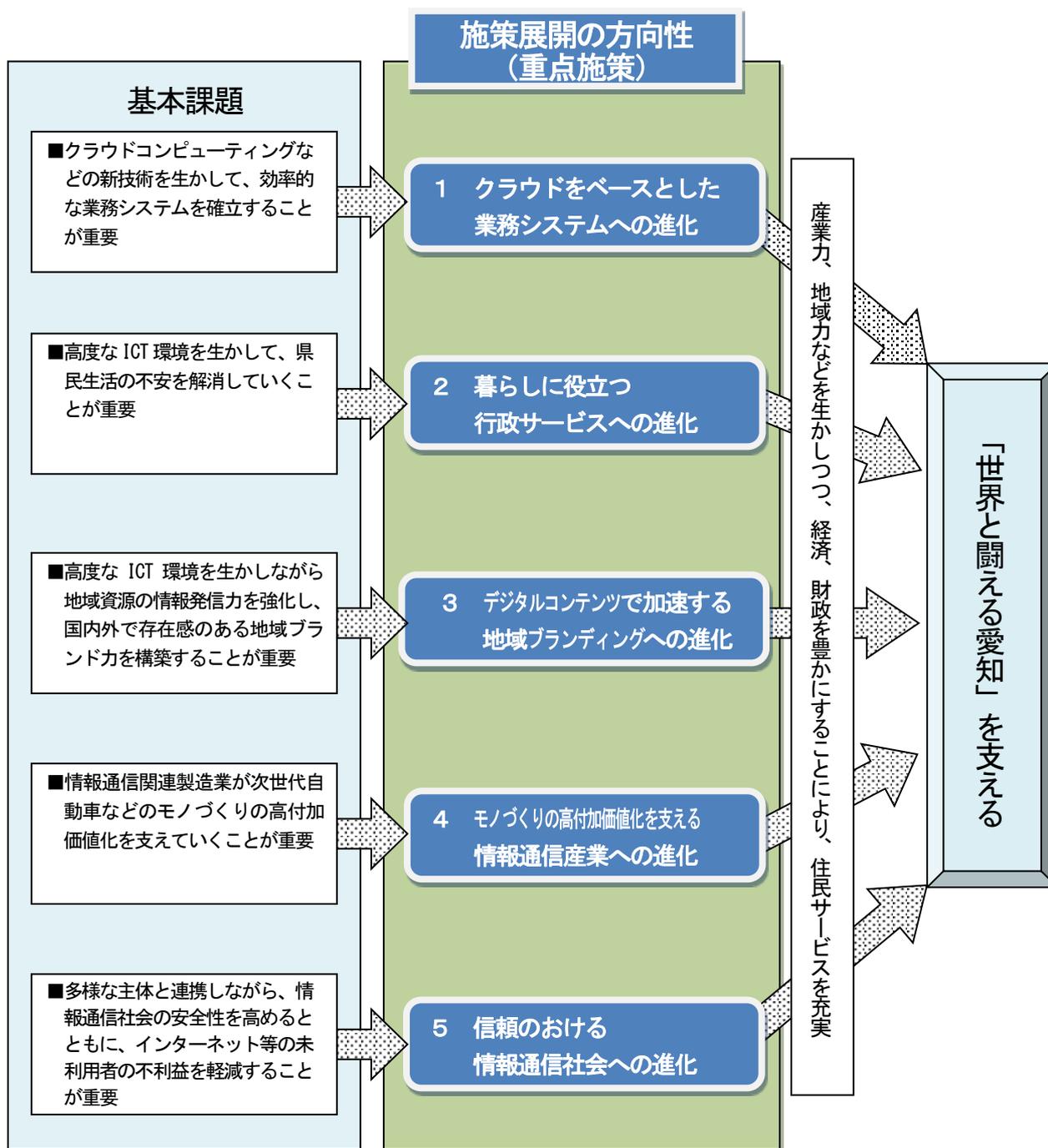
1	年次レポートの趣旨	1
2	主な実施状況	2
3	施策ごとの進行状況	16
4	まとめ	22
	(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧	24

# 1 年次レポートの趣旨

愛知県では2011年（平成23年）12月に策定した「あいちICTアクションプラン2015」において、地域や県庁の特性と昨今の外部環境の変化を分析した基本課題を踏まえ、情報通信技術（ICT）の分野における5つの施策展開の方向性（重点施策）を下図のとおり設定しました。

年次レポートでは、計画の進行管理のために、各重点施策に対する主な取組を報告するとともに、今後の計画や計画を進める上での課題を確認していきます。

本紙は2015年度版に続く5回目の年次レポートで最終版になります。



## 2 主な実施状況

「あいちICTアクションプラン2015」で掲げた重点施策について、実施した主な取組と27年度に実施した取組の内容を報告します。

### 重点施策1 クラウドをベースとした業務システムへの進化

#### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
1-1 自治体クラウドの推進	・自治体間の業務の標準化 ・災害時に強い業務システムの構築 等
1-2 業務システム基盤の再構築	・高コストな汎用コンピュータからの移行（汎用コンピュータの廃止） ・サーバ統合による運用経費の低減 等
1-3 業務システムの開発・改修	・新公会計制度の導入などによるシステムの開発・改修の計画的な実施 等
1-4 携帯情報端末を活用した業務改善	・新たな携帯情報端末の活用の検討
1-5 業務システム調達プロセスの改善	・業務システムの開発・改修にあたって、透明性、公平性、競争性を確保した調達の実施
1-6 情報通信基盤の強化	・ネットワークに接続されていない単体パソコンのネットワーク化 ・増大する情報量に対する情報通信基盤の迅速な見直し

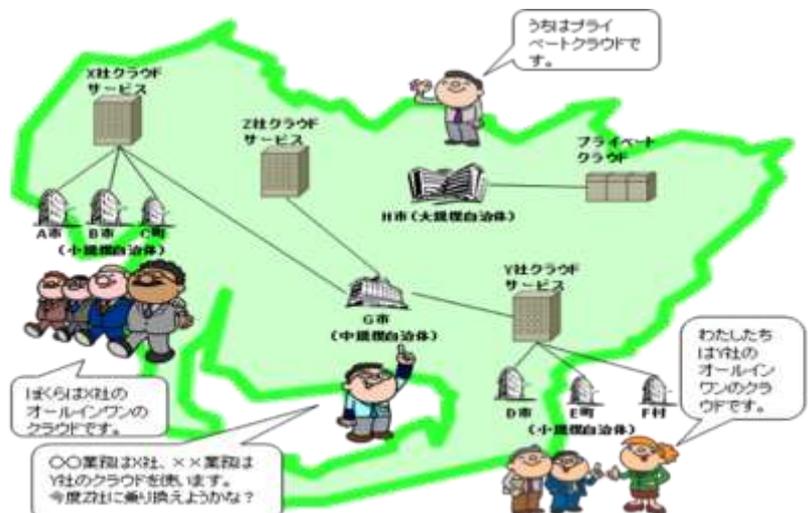
#### 【1-1 自治体クラウドの推進】

目標：クラウドコンピューティングにより効率的で災害に強い業務システムに転換します。

##### ○ 県内市町村の自治体クラウドの移行支援

あいち電子自治体推進協議会において24年3月に「あいち自治体クラウド推進構想」を策定し、その構想を推進するため、自治体クラウド事業部会を設置し、24年度から自治体クラウド推進支援事業を開始しました。

26年3月までに、半数以上の市町村でクラウドが導入（予定含む）されたことから自治体クラウド事業部会を廃止し自治体クラウド推進支援事業は終了しました。その後は、市町村によるグループ活動としての勉強会やクラウド・サービスの選定作業などの支援を行い、27年度末までに28市町でクラウドが導入されました。

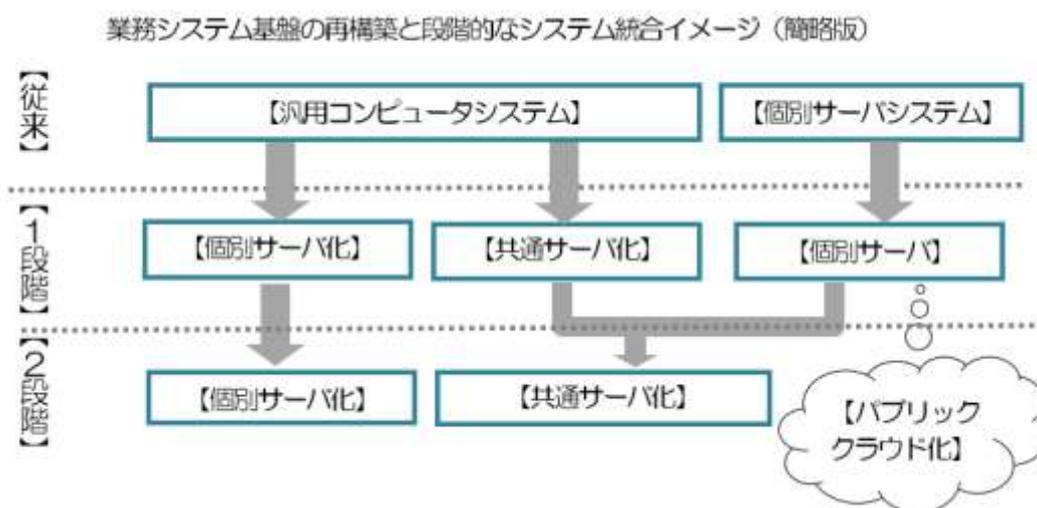


## 【1-2 業務システム基盤の再構築】

目標：汎用コンピュータからサーバシステムへの移行により、経費削減や安定的運用を図ります。

### ○ 共通サーバシステムへの移行

IT経費の削減、情報システムの安定的な稼働及び効率化を目的とし、汎用コンピュータに換わる業務システム基盤として構築した共通サーバシステム(庁内クラウド)を26年4月から本格稼働しました。汎用コンピュータから移行した12システムに加え、26年度は個別サーバを使用していた13システムを新たに移行し、27年度は、12システムを移行し、27年度末時点で37システムを共通サーバ上で運用しています。



### ○ 電子申請・届出システムの更新

あいち電子自治体推進協議会の全団体事業として、自宅や会社のパソコンからインターネットを利用して、県職員採用試験の申込や、自動車税住所変更の届出などの手続きを行うことができる、電子申請・届出システムを更新しました。

26年度には、このシステムの更新にあたり、コストの低減のために、機器・システムを包括し、サービスとして利用するASP・SaaS方式によるパブリッククラウドとしてシステムの調達を実施しました。

## 【1-3 業務システムの開発・改修】

目標：行政を取り巻く環境変化を見据えながら、業務システムの開発・改修を図ります。

### ○ 業務システムの新公会計制度への対応

25年度には、複式簿記・発生主義会計を採り入れた新公会計制度が導入されたことに伴い、財務システム、予算編成支援システム、公有財産管理システム、建設行政情報システム及び建設資産管理システムで新公会計制度に対応したシステムが本格稼働しました。

### ○ 社会保障・税番号制度への対応

「社会保障・税番号制度」については、個人番号や法人番号を割当て、「行政運営の効率化及び行政分野におけるより公正な給付と負担の確保」をし、かつ、「国民が、手続の簡素

化による負担の軽減、本人確認の簡易な手段その他の利便性の向上を得られるよう」にすることを目的に番号制度関連4法が25年5月24日に成立しました。そして、27年10月には個人番号が通知され、28年1月には個人番号の利用が開始しました。さらに、29年7月からは地方公共団体を含めた情報連携を行うこととされており、地方公共団体においても制度導入に向けた取組を遅滞なく進めていく必要があります。

26年度には、職員の個人番号管理や源泉徴収票などの書類に個人番号を記載するため、報酬等システム、総務事務システム、人事管理総合システム等のシステム改修を行いました。また、27年度は、29年7月から始まる地方公共団体の情報連携に必要となる統合宛名管理システムの製造・テストを行いました。

#### 【1-4 携帯情報端末を活用した業務改善】

目標：新たな携帯情報端末を業務改善に活かします。

##### ○ 用地補償の概要説明への動画利用

用地補償事務を円滑に進めることを目的として、23年度に用地補償の概要を地権者に説明する動画を制作し、新任用地職員研修や事業説明等において試行的に活用しました。また、用地交渉現場等において、携帯情報端末を活用する実証実験を行いました。

地権者宅において、口頭説明だけでなく画像による説明を加えることができたため、用地補償制度の概要についての理解は得られやすく、具体的な質問がなされるなど一定の成果が認められました。

#### 【1-5 業務システム調達プロセスの改善】

目標：業務システムの調達プロセスを統制し、経費削減を図ります。

##### ○ 情報システム調達の適正化

情報システム適正化事業の支援対象となるシステム(27年度は7システム)を選定し、ITの専門的知識を持つコンサルタントから支援を受け、「①調達予定価格適正化」と「②調達仕様書作成」を行いました。

①の調達予定価格適正化支援作業により、調達費用を抑制(27年度は9.1%)することができました。また、②の調達仕様書作成支援作業で、入札における透明性、公平性、競争性を確保しました。

この他、各部局の業務システム担当職員に対し、情報システム調達に関する知識の底上げを目的として、「情報システム適正調達研修」を実施しました(27年度は41名参加、5年間で延べ191名参加)。

#### 【1-6 情報通信基盤の強化】

目標：情報量に対応した情報通信基盤を整備し、業務活動や県民サービスへの支障を防ぎます。

##### ○ 県警パソコンのオンライン化

24年度には、オフラインで運用している警察本部と警察署(交番及び駐在所を含む)の捜査活動支援用パソコンのネットワーク化が完了し、組織的な情報コミュニケーション機能が強化されました。

## 重点施策2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」のリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップページの掲載項目を、利用しやすい項目に改善</li> <li>・複数の広報媒体の効果的な連携 等</li> </ul>
2-2 ネットコンテンツの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民向けコンテンツの周知や使いやすさ向上</li> <li>・新たな情報提供、情報鮮度の維持への取組 等</li> </ul>
2-3 安全情報伝達体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難勧告、被災者の安否情報などの迅速・確実な伝達</li> <li>・防犯と安全に関する情報についても迅速・確実な対応の必要性 等</li> </ul>
2-4 ICT を生かした教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが情報を適切かつ効果的に活用できる能力の向上</li> <li>・分かりやすい授業を実現するための方法のひとつとしてICTの効果的な活用</li> </ul>
2-5 地域に応じた医療福祉体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・在宅ケアの推進体制の確立や、画像伝送、生体情報伝送など遠隔医療システムの普及・電子カルテの導入 等</li> </ul>

### 【2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」(<http://www.pref.aichi.jp/>)のリニューアル】

目標：「ネットあいち」をリニューアルし、利用者の拡大を図ります。

#### ○ 愛知県庁本庁舎の360°パノラマビューによる紹介

(<http://www.pref.aichi.jp/360/>)

27年度には、国の重要文化財である愛知県本庁舎の「貴賓室」「正庁」「講堂(旧議事堂)」「屋上」「外観」を上下左右360度の写真で楽しめる360°パノラマビューで紹介するページを作成しました。



○ イベント情報等を発信するワクワクあいちの開設・充実

(<http://www.pref.aichi.jp/joho/wakuwaku/>)

愛知の「おもしろいもの」発信基地「ワクワクあいち」を23年度に開設しました。

応援名刺作成ページでは、知事の名刺で使用されている愛知の農林水産物・特産品のPR用画像をダウンロードできるように掲載し、毎年度更新を行いました。また、期間限定として、25年度にはB-1 グランプリ in 豊川のPR名刺を、26年度には技能五輪・アピリンピックあいち大会2014のPR名刺を一時的に追加しました。

ソーシャルメディアによる情報発信ページでは、25年度に、これまでのツイッター(Twitter)、フェイスブック(Facebook)に加え、LINE@を開設しました(【3-2】参照)。



○ 「あいち はぐみんネット」のリニューアル

(<http://www.pref.aichi.jp/kosodate/hagumin/>)

子育てに関することを楽しく検索できる子育て応援総合情報サイトとして「あいち はぐみんネット」を26年度にリニューアルしました。イクメン情報など、参加型コンテンツを充実し、フェイスブック、ツイッターによる情報発信も始めました。



○ 「ネットあいち」のトップページをリニューアル

(<http://www.pref.aichi.jp/>)

23年度には、トップページのデザインを利用者が直感的に利用しやすいように大幅に見直しました。

27年度は、システムの更新に合わせて、大分類を4種類から6種類に増やすなど、分類を見直し、利用者が目的の情報にたどり着きやすいようにリニューアルしました。

## 【2-2 ネットコンテンツの充実】

目標：ネットコンテンツを充実させ、県民の暮らしを便利にします。

○ スポーツ大会情報発信サイトの作成・運用

(<http://www.aichi-sports.jp/>)

25年度には、本県のスポーツ大会情報や、スポーツ施設、スポーツ合宿地等を紹介するWebサイト「あいスポ」を作成しました。また、QRコードを雑誌等に掲載するとともに、関連スポーツ大会である「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」などのWebサイトにもバナーを掲載し、このサイトの周知を図りました。

○ 愛知県オープンデータカタログの設置

(<http://www.pref.aichi.jp/life/7/>)

本県が保有するデータを公開する環境を整備し、公開を進めていくことにより、行政の透明性・信頼性の向上を図るとともに、公開されたデータを利活用した新たなビジネスの創出、社会・経済の発展に寄与することを目指しています。

27年度は、新たに337件のデータを公開し、合計418件となりました。



○ 愛知県 Xバンド MP レーダ雨量情報の配信

(<http://www2.kasen-owari.jp/xband/>)

国土交通省の Xバンド MP レーダから提供を受けているデータ（現況雨量）を元に、背景地図を詳細にするなどの変更を加え、下流域の警戒に役立つような愛知県独自の機能を付加してインターネットで閲覧できるシステムを構築し、配信しました。これにより、詳細かつほぼリアルタイムでの現況雨量を提供することができるようになりました。

## 【2-3 安全情報伝達体制の強化】

目標：安全情報を迅速かつ確実に伝達し、安心安全な暮らしを支えます。

○ Lアラート（公共情報 commons）に対する災害情報の提供

県民が多様で身近なメディアを通して、災害情報等を迅速かつ確実に受け取ることができるようになるため、総務省実施の Lアラート（公共情報 commons）調査研究に参加し、27年度から Lアラートに対する避難勧告、避難所開設などの災害情報の提供を開始しました。

○ 登録型防災情報メールサービスの開始・拡充

大雨、洪水、土砂災害などの防災情報を携帯電話・スマートフォンにメールでお知らせする、登録型防災情報メールサービスを24年度に開始し、26年度には特別警報に対応するようにしました。

○ 緊急速報メールサービスの開始・拡充

三河山間地域の、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村の土砂災害警戒情報及び境川・逢妻川における河川の洪水警報に関する緊急速報メールサービスを24年度に開始し、26年度には土砂災害警戒情報の配信エリアを愛知県内の土砂災害危険箇所がある全ての市町村に拡大しました。

○ あいち AED マップの拡充

県内の AED 設置情報を提供する「あいち AED マップ」のスマートフォン用の Web サイトを26年度に作成しました。

## 【2-4 ICTを生かした教育の充実】

目標：ICT を活用し、教育の質の向上を図ります。

- 校務支援システムの導入  
グループウェアや成績処理、調査書・生徒指導要録の作成をシステム化した校務支援システムを23年度に構築し、24年度には各県立学校に導入しました。
- 「あいちの学校連携ネット」の開設  
(<http://www.gakkourenkei.aichi-c.ed.jp/index.html>)  
県教育委員会では県内全ての4年制大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会が双方から情報を掲載する高校生・大学生・教職員のためのマッチングサイト「あいちの学校連携ネット」を23年度に開設しました。



## 【2-5 地域に応じた医療福祉体制の構築】

目標：ICT を活用し、安心できる医療福祉体制をつくります。

- 地域包括ケアシステム構築におけるICTシステムの導入  
26年1月に「あいちの地域包括ケアを考える懇談会」から提出された「地域包括ケアシステム構築に向けた提言」に基づき、27年度は、26年度から引き続き、地区医師会モデル、訪問看護ステーションモデル、医療・介護等一体提供モデル、認知症対応モデルの4つのモデル事業を県内6か所で実施し、ICTシステムの利活用及び導入の検討を行いました。
- 県立病院等における電子カルテの導入  
がんセンター中央病院において、25年度に電子カルテの本格運用を開始しました。  
小児保健医療総合センターにおいて、27年度に電子カルテを導入しました。  
がんセンター愛知病院では28年度に電子カルテを導入する予定です。  
精神医療センターでは、建て替え工事が完了する29年度の電子カルテ導入に向けて準備中です。  
心身障害者コロニー中央病院では、医療療育総合センター（仮称）が全面開所する30年度の電子カルテ導入にむけて準備中です。
- 三河青い鳥医療療育センターへの電子カルテの導入  
三河青い鳥医療療育センターでは、28年4月開所にあわせて、電子カルテシステムを導入しました。

## 重点施策3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
3-1「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進	・日本、さらには世界の中で存在感のある地域ブランドを構築していくために、本県固有の観光資源・文化芸術・特産品などの情報発信が必要
3-2 ソーシャルメディアの活用	・地域資源の発掘、磨き上げ、情報発信を一体的に行うことが必要 ・ソーシャルメディアの特性に配慮しながら、ソーシャルメディアの持つ力を情報発信や地域づくりに生かしていくことが必要
3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実	・スマートフォン向け観光アプリやAR技術を活用した情報発信の拡大 ・国内に限らず、東アジアなど海外に対する情報発信の強化
3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実	・文化芸術情報の積極的な情報発信
3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実	・他の特産品との差別化を図るため、特産品の良さ（価値）を消費者に分かりやすく伝えることが必要
3-6 企業等との連携による情報発信力の強化	・企業やNPOとの連携はまだ限定的で、拡大が必要

### 【3-1 「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進】

目標：観光・文化芸術・特産品の動画配信を促進し、地域振興や地域ブランド力の強化につなげます。

#### ○ PLAY! AICHI プロジェクトの成果

アクションプランの期間中、観光、文化芸術、特産品などをテーマにした動画 249 本を制作し、アクセス数は約 45 万件となりました。

県庁内で動画制作を推進するために作成した動画制作マニュアルにより、さまざまな所属で動画による情報発信が実施されるようになり、動画が広報の手段として一般化してきました。

このほか、スマートフォン用アプリやARコンテンツの制作なども実施し、ICT を活用した情報発信を行ってきました。

また、24 年度には、公益社団法人日本広報協会が主催する「全国広報コンクール」の広報企画部門で「PLAY! AICHI プロジェクト」が入選を果たしました。

#### ○ PLAY! AICHI 特派員

「あなたの街に“住みます”プロジェクト」の“住みます芸人”や、名古屋・大須の地元アイドルユニット「OS☆U」の皆さんに、県内で行われたイベントなどに出演いただき、その情報発信力を活かして地域活性化の取組を行いました。

○ PLAY! AICHI 地域特派員

海部地区を盛り上げるため、地元アイドルユニット「海部地区盛り上げ隊 (AMT)」を活用し、県内各地域のコミュニティFM局、CATV局と連携し、地元アイドルとコラボした地域PR番組を放送するとともに、PR動画の制作・配信をとおして、地域活性化の取組を行いました。

### 【3-2 ソーシャルメディアの活用】

目標：ソーシャルメディアを活用し、観光・文化芸術・特産品の魅力をきめ細かく伝えます。

○ ソーシャルメディア利用ガイドラインの改定

職員がソーシャルメディアを利用する際の基本的な考え方や留意すべき事項等をまとめ、有効に活用できることを目的として「愛知県ソーシャルメディア利用ガイドライン」を24年度に策定し、25年度に一部の改定を行いました。

○ あいちの離島80日間チャレンジ

「あいちの離島80日間チャレンジ」の3人のチャレンジスタッフが、23年9月から12月末までの間、あいちの離島（佐久島、日間賀島、篠島）の各島に滞在し、ブログ、ツイッター及びフェイスブックにて情報発信を行いました。ツイッターやフェイスブックについては、チャレンジスタッフが滞在期間中に経験した、島の魅力（イベント、名所等）に関する情報を、リアルタイムで配信しました。

○ あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ

「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」の5人のチャレンジスタッフが、24年8月末から12月末までの間、あいちの山里で生活をしながら、日々の暮らしでの発見や感動など、山里の暮らしの魅力や様々な地域資源をフェイスブックやYouTube等で広く全国に発信することで、三河の山里の観光PRや交流・移住の促進を図りました。

○ フェイスブック「アンキーくんとシーベルちゃん（あいちの地域安全）」

26年5月から防犯・交通安全情報を発信するフェイスブック「アンキーくんとシーベルちゃん（あいちの地域安全）」の運営を始めました。

安全なまちづくりキャラクター「アンキーくん」と交通安全キャラクター「シーベルちゃん」が身近な犯罪や交通事故情報とその対策、イベント情報について随時掲載することで、幅広い年齢層の方へ情報の周知を図りました。

○ ソーシャルメディアによる情報発信

フェイスブック (Facebook) 31、ツイッター (Twitter) 14 及びライン (LINE) 1 により、各種情報を発信しています。

### 【3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実】

目標：観光情報の訴求力を高め、国内外からの誘客を増やします。

#### ○「愛知の引力。」の配信

(<http://www.pref.aichi.jp/koho/aichi-inryoku/>)

「技。」「景。」「躍。」「文。」「史。」の5つのテーマに関する美しい映像で愛知の魅力を紹介する愛知県広報動画「愛知の引力。」を制作し、27年度に配信を開始しました。



#### ○「こってり愛知 de 首都圏」の開設

(<http://kotteri.jp/>)

27年度に、首都圏からの誘客促進を図るため、首都圏向けの愛知県観光プロモーション公式Webサイト「こってり愛知 de 首都圏」を開設しました。

このWebサイトでは、大村知事をモデルに新たに制作した愛知県観光PRキャラクター「ひでっち」が登場し、なごやめしを始めとする愛知のグルメや県産品、観光スポットなどの愛知の魅力を楽しく紹介しています。



○ 松平健氏を起用した観光PR 動画制作

27年度に、プレミアム付宿泊券・観光券の販売に合わせ、愛知県の魅力的な観光資源を、愛知県出身の松平健さんがユニークに紹介する動画を制作し、ユーチューブ（YouTube）等で配信し、特設サイトや交通広告などと連動したプロモーションを実施しました。

○ 外国人留学生による愛知県紹介の動画制作

(<http://www.pref.aichi.jp/global/en/other/videos.html>)

24年度に、外国人留学生が本県のモノづくりの現場や大学、生活環境を取材して、本県の様々な魅力を国内外に発信する動画 10本を制作し、配信しました。

○ タイ語でのWeb サイト開設

(<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/thai/>)

タイにおける本県の知名度を向上させるとともに、あいちの魅力を発信し、旅行客やビジネス客等の来訪者の増加を図るためタイ語での Web サイト、フェイスブックページを開設するとともに、動画 13本を制作し、25年に配信しました。

○ タイ語の電子パンフレットの配信

多くの外国人に対して本県観光地の PR を行うため、愛知県、中部広域観光推進協議会の Web サイトにおいて、タイ語の電子パンフレットを配信し、観光PRを行いました。

### 【3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実】

目標：ICT を活用し、文化芸術をもっと親しみやすくします。

○ 貴重和本デジタルライブラリーの公開

(<https://websv.aichi-pref-library.jp/wahon/index.html>)

愛知県図書館では、23年度に「貴重和本デジタルライブラリー」を公開しました。

このライブラリーの公開により、愛知県図書館の貴重書庫に保管されて、閲覧には特別な手続きが必要な貴重和本がインターネットを介して、ご自宅や学校で自由に閲覧することが可能になりました。



○ デジタルアーカイブの充実

26年度に愛知県陶磁美術館が収蔵するコレクションを管理するため、「愛知県陶磁美術館所蔵品データ管理システム」を導入しました。これにより、デジタルアーカイブが進み、Web サイトにおいて順次公開に向けた準備をしていきます。

○ スマートフォンサイトの新設

26年度に愛知県陶磁美術館のスマートフォンサイトを新設し、トップページに所蔵品紹介スライドを設置しました。また、Google マップインドアビューやYouTubeでの動画を掲載することで、来場前にも展示室の雰囲気イメージできるようにしました。

### 【3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実】

目標：特産品の魅力を分かりやすく紹介し、人気を高めます。

○ アマゾンジャパンで愛知県フェアの実施

アマゾンジャパン内の日本各地の特産品を販売するショッピングサイト「Nippon ストア」で、本県産の食品や農産物、名古屋おもてなし武将隊のグッズなどをPR・販売する「愛知県フェア」のWeb ページを開設しました。

○ あいちの農林水産物のWeb を活用した情報発信

(<http://www.pref.aichi.jp/nourin/iitomo/>)

あいちの旬の農林水産物や産品、取組等を一元的に紹介するWeb サイト「あいちは、あいちで、いただきせ!」をインターネットで発信しました。



### 【3-6 企業等との連携による情報発信力の強化】

目標：企業やNPO と連携し、それぞれが持つ力の相乗効果により情報発信力を高めます。

○ 「ロココロあいち」連携モデル事業によるクロスメディア及びメディアミックスの取組及び配信

(<http://lococoro-hotfurusato.com/>)

24年度には、新しい公共支援事業「ロココロあいち連携モデル事業」において、地域に根ざした活動を行っているNPO 及び市民グループの活動状況をWeb サイト、マスコミ及び広報誌等で情報発信する取組を行い、Web サイト「ロココロあいち」を開設しました。

○ 中部国際空港及び愛知県のPR動画制作

27年度には、世界コスプレサミットと連携し、中部国際空港と愛知県をPRする動画コンテンツを制作し、世界コスプレサミットの公式WebサイトやSNS、ユーチューブ等で配信しました。

また、エアポートセールス等の渡航の際に、動画やチラシを活用し、海外に向けて愛知を始めとした中部地域の情報を発信しました。

【その他の取組 スポーツに関する情報発信力の強化】

目標：スポーツ大会を招致、育成し、地域活性化につなげます。

○ あいちスポーツコミッションサイトの作成・運用

(<http://aichi-sc.jp/>)

スポーツ大会を招致、育成し、地域活性化につなげるためのネットワーク組織「あいちスポーツコミッション」の設立に合わせ、本県のスポーツ施設情報や、スポーツ大会開催実績等をスポーツ大会の主催者向けに紹介するWebサイト「あいちスポーツコミッション」を作成しました。また、スポーツ大会の参加者・観戦者向けのWebサイト「あいスポ」と連携し、効果的な情報発信を行いました。



## 重点施策 4 モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
4-1 研究開発の促進	・既存産業の高度化・新たな産業の創出を図り、モノづくり拠点として持続的に発展するために、情報通信技術、高度部材、加工技術など基盤技術をさらに高めていくことが必要
4-2 スマートモビリティ社会の創造	・ITS世界会議や県内における実証実験の成果などを生かしたITSの普及・定着
4-3 情報通信産業等の誘致・育成	・情報通信技術をモノづくり産業に繋げることができる人材を地域全体で計画的に育成することや情報通信産業等の企業誘致が必要
4-4 デジタルコンテンツ産業の育成	・地元企業と協力し、スマートフォン用コンテンツなどの作成により開発ノウハウの蓄積を促進

#### 【4-1 研究開発の促進】

目標：情報通信技術を活用した研究開発を促進し、モノづくり産業の高付加価値化を支えます。

##### ○ 農業関連の技術開発

農商工連携の手法を通じ、情報通信技術を活かした農業を振興していくため、26年度に開発した施設園芸施設の環境を低コストかつ手軽に計測しクラウド上で可視化できる環境モニタリングシステム「あぐりログ」普及を推進し、県内に97台が導入されました。

今後は、「あぐりログ」を活用し、作物の生育情報と施設内の環境情報を組み合わせた高度な環境制御ナビゲーションシステムの開発を目指します。

#### 【4-2 スマートモビリティ社会の創造】

目標：ITSなどの新技術を活用しながら、世界最先端のスマートモビリティ社会をつくります。

##### ○ 愛知県 ITS 推進協議会の活動

愛知県 ITS 推進協議会の活動の中で、安全・安心な愛知づくりに向けた取組を実施しました。

- ・25年度にITS安全・安心グループを設置し、交通安全のためのITS活用方策を検討し、26年度には、その実証実験を実施（2箇所）
- ・あいちITS大学セミナー開催（27年度は18回、5年で104回開催）
- ・あいちITSワールドを開催（2011、2013、2015）

##### ○ 自動車安全技術プロジェクトチーム（PT）の活動

交通事故の抑止を目指し、産学行政で構成する「自動車安全技術プロジェクトチーム(PT)」を25年6月に設置し、自動車安全技術に係る研究開発等の現状と課題に関する調査、研究開発・実証実験及びその支援、普及・啓発の取組を推進しています。

### 【4-3 情報通信産業等の誘致・育成】

目標：情報通信産業を含む次世代成長産業の誘致・育成を図ります。

- ビジネスマッチングの開催  
有望ビジネスマッチング交流会「ビジネスプラン発表会」を愛知県産業労働センター（ウインクあいち）で開催しました。27年度の交流会では、情報通信分野を含む起業家や新分野進出企業等計12社がビジネスプランを発表し、これらの企業に対する融資、投資、生産、販売等の事業提携を希望するビジネスパートナーと出会うきっかけとなりました。
- 情報通信産業等の立地  
産業立地サポートステーションにおいて、情報通信分野を含む次世代成長産業などの情報収集を行うとともに、21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金、産業立地促進税制を活用しながら、立地を図っています。
- あいちベンチャーハウスのWebサイトのリニューアル  
(<http://www.venture-house.jp/>)  
情報発信に加え、より閲覧されるための取組として、あいちベンチャーハウスの様子がわかりやすいように、トピックスやコラムなどを作成するなど、26年度にWebサイトを大幅に改良しました。



### 【4-4 デジタルコンテンツ産業の育成】

目標：デジタルコンテンツ産業に着目し、積極的な取組を開始します。

- デジタルコンテンツコンテストの実施  
将来を担う若手クリエイターの発掘と地域への定着を目的として、「愛知デジタルコンテンツコンテスト」を開催しました（26年度で終了）。  
静止画部門の受賞作品は、「ワクワクあいち」の静止画ギャラリー「瞬☆感あいち」に掲載しました。

## 重点施策 5 信頼のおける情報通信社会への進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット空間におけるマナーの向上やメディアリテラシーの強化</li> <li>・インターネット利用者の情報セキュリティに対する意識向上</li> <li>・不当請求・架空請求などの被害防止のための啓発の強化</li> </ul>
5-2 情報セキュリティの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が保有する個人情報など重要な情報資産、情報セキュリティの徹底が必要</li> </ul>
5-3 アクセシビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット未利用者の不利益拡大の防止</li> <li>・日本語がわからない外国人にも配慮したWebサイト作りが必要</li> </ul>
5-4 地理的情報格差の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河山間地域を中心とした携帯電話の不感地帯解消</li> </ul>

#### 【5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保】

目標：ネット犯罪の防止や情報モラルの向上を図り、安心できる情報社会にします。

##### ○ 「保護者向け体験！体感！スマホ教室」の開催

小学生から高校生までの保護者、教員、青少年団体の活動者等を対象に、実際にスマートフォン端末に触れて、危険性を認識してもらうとともに、正しい使い方などを習得してもらう、講師出張型の「保護者向け体験！体感！スマホ教室」を開催しました（27年度は240教室、2年で697教室）。



##### ○ サイバー犯罪防止講話の開催

<http://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/boushi.html>

県内の小・中学校や高等学校、県民や企業などに対し、関係機関と連携して「サイバー犯罪防止講話」を開催し、インターネット上の掲示板などに誹謗中傷となる書き込みをしないといった情報モラルの徹底と情報セキュリティ向上のため広報啓発活動を実施しています（27年度は2,192回、5年で9,559回）。

##### ○ 安心ネットインストラクターによる普及・啓発活動

安心ネットインストラクターを養成し、保護者や地域の人々に対してネット社会の危険な現状や情報モラルの普及・啓発活動を実施しました（26年度で終了、4年で141回）。

## 【5-2 情報セキュリティの徹底】

目標：情報セキュリティの徹底を図り、県庁が保有する重要情報を守ります。

- 標的型攻撃メール全庁セキュリティ訓練  
職務に関係ある案件をかたった標的型攻撃メールによる情報流出を防止するため、セキュリティ訓練を行いました（27年度は2回、過去3年で9回）。今後も継続して実施します。

## 【5-3 アクセシビリティの確保】

目標：だれもがICTの恩恵を受けられる情報社会にします。

- 「ネットあいち」の全ページ自動翻訳  
日本語がわからない外国人にも利用可能なWebサイトにするため、「ネットあいち」全ページを対象に、自動翻訳（英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語始め90言語）機能を追加しました。
- 「ネットあいち」に自動ふりがな（ルビ）機能の追加  
漢字が読めない方にも利用可能なWebサイトにするため、「ネットあいち」全ページを対象に、自動でふりがな（ルビ）をつける機能を追加しました。

## 【5-4 地理的情報格差の解消】

目標：三河山間地域において、携帯電話を使いやすくします。

- 携帯電話用鉄塔の整備  
新城市内、豊田市内及び豊根村内において携帯電話用鉄塔を整備しました（8地区8局/5年）。



### 3 施策ごとの進行状況

#### 重点施策1 クラウドをベースとした業務システムへの進化

(評価指標) 自治体クラウドを構築している市町村数

(目 標) 43市町村(27年度末時点)

(27年度末の状況)

- ・クラウド導入のため市町村をグループ化(基幹系・内部事務系)
- ・28市町がクラウド化実施

(施策の趣旨及び課題)

本施策は、クラウドコンピューティングなどの新技術を生かすことによって、効率的で災害に強い業務システムを確立するために展開しています。

特に28年1月から社会保障・税番号制度が始まるのに合わせ、市町村が既存のシステムを改修する必要があるため、国も自治体クラウドの取組を加速させる方針です。

市町村のシステムのクラウド化については、既存のシステムからの円滑な移行や業務の負担を軽減するために、県がアドバイザーとなり、市町村の意向も確認しつつ、市町村同士での共同での検討や先行団体の実施状況の情報を共有していくことが重要です。

県庁内の業務システムについては、第1段階として、共通サーバシステムの構築は完了したため、第2段階として、各個別サーバについても統合を進めるとともに、各システムの見直しを行うことで、システムの適正化及びIT経費の低減化を進めていくことが必要となっています。

(策定時の主な計画)

#### 1-1 自治体クラウドの推進

- ・先行自治体のクラウド導入(24年度～)
- ・クラウド導入のための市町村グループ活動を支援(25年度)
- ・各自自治体の更新時期に合わせて順次導入(26年度～)

#### 1-2 業務システム基盤の再構築

- ・大規模システムの個別サーバ化に向けてのシステム及びデータ移行、稼働準備(25年度)
- ・個別サーバを共通サーバ化するための移行調整、仕様等検討(24～25年度)
- ・共通サーバへの移行開始(26年度～)

#### 1-3 業務システムの開発・改修

- ・税務システムの試験・稼働開始(25年度)
- ・予算編成システム、財務システム、公有財産管理システム、建設行政情報システム及び建設資産管理システムの改修・稼働(25年度～)
- ・職員採用試験システムの運用(25年度～)
- ・物品調達におけるオープンカウンタの対象範囲の拡大(23年度～)

#### 1-4 携帯情報端末を活用した業務改善

- ・知の拠点あいちの施設案内用の携帯情報端末の運用(24年度～)
- ・事業説明会・用地交渉現場における地権者説明に動画活用(24年度～)
- ・タブレット端末の行政事務への利用検証(25年度～)

#### 1-5 業務システム調達プロセスの改善

- ・全庁システム調査(毎年度)
- ・適正化事業としてシステム開発・改修について支援(毎年度)

#### 1-6 情報通信基盤の強化

- ・地方機関の回線変更(23年度～)
- ・光回線への切替が可能となった県立学校について光回線化(23年度～)
- ・教員・職員への一人一台パソコンの全員配備に向けた取組(23年度～)

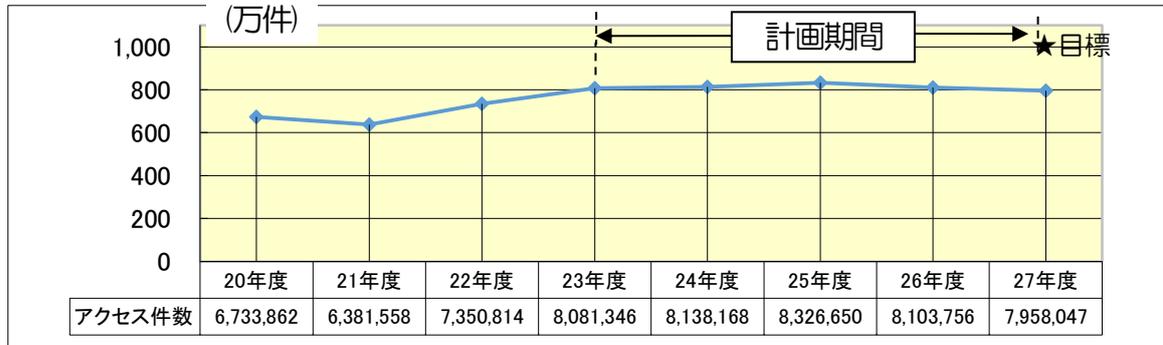
## 重点施策2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化

(評価指標)「ネットあいち」(トップページ)のアクセス件数

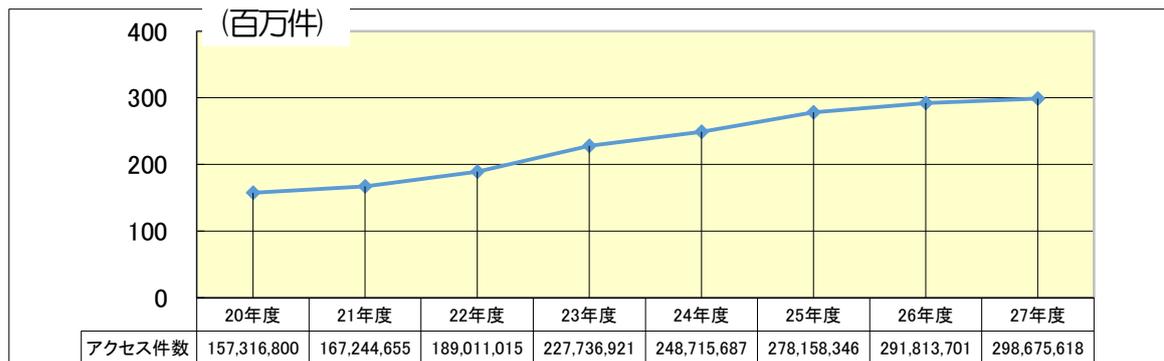
(目標) 1,000万件(27年度の件数)

(27年度末の状況)

- ・約796万件(27年度計、全国3位) 参考:26年度=全国4位



20年度からの「ネットあいち」(トップページ)のアクセス件数推移と目標年度の件数



20年度からの「ネットあいち」の総アクセス件数推移

### (施策の趣旨及び課題)

本施策は、高度なICT環境を生かして県民生活の不安を解消していくために展開しています。

「ネットあいち」(トップページ)の年間アクセス件数は、26、27年度と2年連続で対前年度比が微減となっています。しかしながら、総アクセス件数の推移をみると、20年度から一貫して増加傾向にあります。

県が発信する情報の総合的な窓口である「ネットあいち」をより親しみやすいものとしていくとともに、県民が必要とするコンテンツを更に充実する必要があります。

また、広報活動の手段として動画サイトやSNSなどの活用、利用する視聴対象の層に合わせた効果的なPR、多言語での情報発信が重要になっています。

(策定時の主な計画)

2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」のリニューアル

- ・LOVE あいちサポーターズからの応援メッセージを追加(23年度～)
- ・PLAY! AICHI 特派員による魅力発信及び特派員の拡充(適宜)
- ・「ワクワクあいち」のコンテンツの拡充(24年度～)
- ・クロスメディア・メディアミックスなど発信する内容に応じた効果的な広報媒体・形式の活用を検討(24年度～)
- ・新しいソーシャルメディアによる情報発信の検討(25年度～)

2-2 ネットコンテンツの充実

- ・「ネットあいち」に県民の方の関心の高い情報の追加(25年度～)
- ・愛知県図書館電算システムの更新(25年度)、連携するための市町村図書館への説明会実施(25年度～)
- ・あいちの空港を紹介する動画及びQRコード等を利用し、空港の利便性の高さをより広く発信(25年度～)

2-3 安全情報伝達体制の強化

- ・ツイッターを用いた防災情報など周知の促進(随時)
- ・AEDマップへの登録の働きかけ(随時)、同マップの表示・入力項目の改修(25年度)
- ・地震や洪水情報など防災メールサービスの普及拡大(25年度～)

2-4 ICT を生かした教育の充実

- ・校務支援システムの運用(25年度～)
- ・「あいちの学校連携ネット」の運用・PR(24年度～)
- ・県立高校での電子黒板・プロジェクトの活用(24年度～)

2-5 地域に応じた医療福祉体制の構築

- ・へき地医療支援システムに係る経費の補助(継続)
- ・がんセンター中央病院における電子カルテの運用(25年度～)及び他の県立病院での導入検討(25年度～)

重点施策3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化

(評価指標)「感☆動! あいち」の動画へのアクセス件数

(目 標) 50万件(27年度までの累計)

(27年度末の状況)

- ・約45万件(「感☆動! あいち」開設から27年度末までの累計)
- ・アクセス件数の多い動画(「デート de 知多あるき」、「あいちの離島PR大作戦」、「愛知の“こだわり特産品”CM及びお笑い特産品動画」)

デート de 知多あるき

知多半島のキャラクター「知多みるく」が、知多半島の魅力を紹介します。お気に入りのキャラクターとのデート気分が味わえます。

[声優紹介]

知多みるく/原高志るみ 豊瀬あつこ/堀田真衣  
大宮あかね/守屋ユウ 知多舞子/野島夕世  
西の川ひなた/菅原紗雪 笠原たけし/杉本雄之介  
成瀬のぼる/大高航ひな 美浜空/吉本夏菜加



あいちの離島PR大作戦!

愛知の離島(佐久島・日根崎島・磯島)PRする「あいちの離島PR大作戦!」



### (施策の趣旨及び課題)

本施策は、高度な ICT 環境を生かしながら地域資源の情報発信力を強化し、国内外で存在感ある地域ブランドを構築していくために展開しています。

本地域では、2026年アジア競技大会、FIFA フットサルワールドカップ2020、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック（競技・合宿）など、多くのスポーツ大会の招致活動等が進められております。地域ブランドの構築にあたっては、こうした全国、世界に打ち出せるスポーツ大会の誘致や本県をロケ地とする映画の撮影の誘致、地域の豊かな風景の紹介などを通じて、本県の認知度を高めていく必要があります。

また、地域イベントと連動して ICT の特性を生かしたコンテンツを作成し、より効果的な情報発信を行っていく必要があります。

なお、近年、行政の分野においてコンテンツ作成により雇用対策や地域振興を図る様々な試みが行われていますが、今後、継続して地域の情報を魅力ある形で発信していくために、情報発信してもらえる協力者との連携などについて検討していく必要があります。

### (策定時の主な計画)

#### 3-1 「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進

- ・PLAY! AICHI 特派員と協力し、新しい ICT 技術等も活用しながら、愛知県の魅力を発信していく（24年度～）

#### 3-2 ソーシャルメディアの活用

- ・ブログサイト「三河の山里だより」を県交流居住センターWeb ページで発信（24年度～）
- ・「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」（24年度）の継承事業として、三河山間市町村が委嘱する「地域おこし協力隊員」を「あいちの山里で暮らそうチャレンジ隊」に認定し、フェイスブック等を活用した情報発信を実施（26年度～）
- ・ソーシャルメディアの活用指針の運用（25年度～）

#### 3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実

- ・新技術を活用したコンテンツの運用を踏まえたノウハウの情報提供（24年度～）
- ・県内で開催されるイベントに AR 技術などを活用（25年度）

#### 3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実

- ・愛知県陶磁資料館（25年6月から愛知県陶磁美術館に名称変更）、所蔵品・展覧会情報等の検索システムの開発及び稼働（25年度）
- ・愛知県図書館電算システムの更新（25年度）、愛知県図書館 Web サイトリニューアル（25年度）
- ・文化財ナビ新規指定・登録データの追加（随時）

#### 3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実

- ・「消費者と生産者の思いを伝える農林水産業」の取組を推進するとともに、モデル事例をインターネットで発信（25年度～）
- ・食や農林水産業に関する Web コンテンツの効果的な情報発信（24年度～）

#### 3-6 企業等との連携による情報発信力の強化

- ・中日本高速道路株式会社との包括協定に基づき三河山間地域の情報を発信（24年度～）

## 重点施策4 モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化

(評価指標) あいちベンチャーハウス入居企業の成長率(売上高前年度比増加率 10%以上)

(目標) 目標達成企業が50%(毎年度の割合)

(27年度末の状況)

(対象企業中で売上高前年度比増加率 10%以上の企業) 6社  
=  $\frac{6}{11}$  (54.5%)  
(あいちベンチャーハウスで2期以上決算を組めた対象企業) 11社中

### (施策の趣旨及び課題)

本施策は、情報通信関連製造業が次世代自動車など本県の強みであるモノづくりの高付加価値化を支えていくために展開しています。

本県は、高度な情報通信技術を背景に、世界一の集積を誇る自動車産業やアジア No.1の航空機産業、日本一の集積を誇るロボット産業など本県の高付加価値のモノづくりの推進を掲げており、それを実現するためには情報通信技術に関連する研究開発などを行う優れた人材・企業の育成や誘致などを促進し、モノづくり産業の競争力をさらに進化させ、日本の産業首都の中核性をさらに高めていくことが必要です。

また、ビッグデータやオープンデータ、クラウド、IoTなど、急速に進展するICT環境の変化に適切に対応し、モノづくりの競争力の向上や新たな産業の創出につなげていくことが必要です。

### (策定時の主な計画)

#### 4-1 研究開発の促進

- ・「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」の実施(試作品開発、商品化、特許出願等)(継続)
- ・情報通信技術を活用した農業振興など東三河地域で企業サポート事業の実施(25年度～)
- ・施設園芸収量予測ソフト実用性の検討(24年度～)
- ・「あいち地球温暖化防止戦略2020」に基づき、再生可能エネルギーと省エネ化によるゼロカーボンライフへの取組を推進(25年度～)

#### 4-2 スマートモビリティ社会の創造

- ・実証実験受入環境整備、実証実験成果の普及(継続)
- ・あいちITSワールド等によるITSの普及啓発活動の実施(継続)
- ・交通事故情報の発生状況を基に、経路上の事故多発地点の情報提供をするための光ビーコンの更新及び整備を実施(24年度～)
- ・ITS世界会議 東京2013へのブース出展及びポストコングレスツアーの実施(25年度)

#### 4-3 情報通信産業等の誘致・育成

- ・21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金及び産業立地促進税制の運用(24年度～)
- ・新学習指導要領における情報通信関連技術の習得に係る年間指導計画の実施(25年度～)
- ・有望ビジネスマッチング交流会の販路開拓支援(24年度～)

#### 4-4 デジタルコンテンツ産業の育成

- ・AR「あいちの野鳥観察広場」、AR「万博アルバム」(24年度～)
- ・「AR未来科学技術体感ルート」のARコンテンツを、リコモ利用促進イベント(リコモウォーキング等)との連携により紹介し、利用を促進(24年度～25年度)
- ・愛知デジタルコンテンツコンテストの実施及び優秀作品の県庁動画サイトへの掲載(継続)

## 重点施策5 信頼のおける情報通信社会への進化

(評価指標) 情報セキュリティに関する研修の受講人数

(目標) 前年度実績値を超える人数(毎年度の人数)

(27年度末の状況)

- ・本庁全課及び全地方機関に置いた情報化リーダーに対して研修を実施  
415名(27年度実績) 参考:26年度=390名
- ・他に新規採用(420名)、キャリアマネジメント研修(中堅職員対象)(243名)、その他の職員研修でも情報セキュリティ研修を実施

(施策の趣旨及び課題)

本施策は、多様な主体と連携しながら、情報通信社会の安全性を高めるとともに、インターネット等の未利用者の不利益を軽減するために展開しています。

近年、急速に情報化が進んでおり、サイバー犯罪の手口もまた高度化・多様化しています。インターネット利用者やスマートフォンなどの通信機器を狙った攻撃も増えていることから利用上の注意喚起をしていく必要があります。

また、社会保障・税番号制度が施行され、28年1月からは個人番号の利用が開始され、29年7月からは地方公共団体における情報連携も予定されていることから、地方公共団体においては、更なるセキュリティ対策の強化が求められています。

インターネットを幅広い人々が利用する情報社会においては、誰もが同じように情報を取得・発信できることが重要であるため、アクセシビリティの確保やデジタルデバイドの解消が求められます。

(策定時の主な計画)

### 5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保

- ・愛知県インターネット・サービスプロバイタ防犯連絡協議会総会等の開催(継続)
- ・教育委員会と警察本部が連携したサイバー犯罪防止対策の実施(23年度~)
- ・県内の重要インフラ企業に対し、広報啓発活動を実施(23年度~)
- ・大学生サイバーボランティアによるサイバーパトロールや講話の実施(24年度~)
- ・デジタルコンテンツに係る不当請求等に対して「あいち暮らしっく」、消費生活情報サイトによる啓発及び消費生活相談を実施(23年度~)
- ・「インターネット利用安全・安心講座」の開催(23年度~25年度)
- ・「安心ネットインストラクター養成講座」の開催(23年度~24年度)
- ・安心ネットインストラクターによる情報モラルの啓発活動(23年度~25年度)
- ・愛知県教育委員会道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラル教育実施及び関連情報の掲載(23年度~)

### 5-2 情報セキュリティの徹底

- ・セキュリティ監査及び指摘事項の改善(継続)
- ・職務の級ごとの職員向けの情報セキュリティに関する研修及び職場ごとの情報化リーダーに対する情報セキュリティ研修の実施(継続)

### 5-3 アクセシビリティの確保

- ・県の公式Webサイトについては、基本的にWeb作成支援システム(CMS)により作成する(継続)
- ・三河山間地域において、情報通信基盤を活用し集落等に対する情報発信などのあり方を市町村とともに検討(継続)
- ・ネットあいちの日本語Webページの自動翻訳機能(英語)の追加検討(25年度)

### 5-4 地理的格差の解消

- ・三河山間地域における移動通信の整備は、地元自治体の要望に併せて対応(継続)
- ・離島における通信環境について、通信事業者及び地元自治体に聞き取り調査を実施(継続)

## 4 まとめ

第2章は計画期間中に実施した主な取組について報告し、第3章は課題の確認や施策の進行状況について記載しました。本章ではあいちICTアクションプラン2015全体の総括を行います。

### (1) 総括

アクションプランの策定以降、取組の成果として、動画を始めとするネットコンテンツの拡充やソーシャルメディアが情報発信ツールとして大きく活用されています。

アクションプランでは、5つの重点施策の下、144項目の施策展開の方向性を設定しています。それぞれの項目ごとに進行状況の評価とコメントを下の表にまとめました。

※評価は、「順」＝順調に進行している、「遅」＝予定より遅延又は取組が不十分である、「未」＝未着手の項目数を表します。

重点施策	評価		コメント
1 クラウドをベースとした業務システムへの進化	順	25	クラウド化や業務システムの開発・改修等は計画通りであり、施策全体として順調に進みました。
	遅	0	-
	未	0	-
2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化	順	40	本県の地域情報を発信する Web サイトやコンテンツの充実を図りました。また、安全情報・教育・地域医療にそれぞれ ICT を活用した取組が開始されました。
	遅	0	-
	未	0	-
3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化	順	36	各種ソーシャルメディアや AR など新しい技術を利用した情報発信を行いました。 今後も引き続き、ICT 技術を生かして地域の魅力を高める取組を充実させていきます。
	遅	0	-
	未	0	-
4 モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化	順	25	ITS などの研究や企業に対する支援を行いました。 今後も引き続き、情報通信産業の振興に力を入れていきます。
	遅	0	-
	未	0	-
5 信頼のおける情報通信社会への進化	順	18	県民の方が安全に暮らせるような情報発信やネット犯罪などを防止する取組を行いました。 今後も引き続き、社会環境の変化に対応した取組を進めていきます。
	遅	0	-
	未	0	-
合計			順調 144 項目、遅延 0 項目、未着手 0 項目

## (2) 28年度以降の展開

アクションプラン2015で策定した計画は、すべて概ね順調に進行してまいりました。

また、アクションプラン2015は、昨年度が目標年次であり、社会環境の変化やICTを巡る急速な技術進歩などに適切に対応していくため、2020年度を目標年次とする「あいちICT戦略プラン2020」を28年3月に策定しました。

「あいちICT戦略プラン2020」では、「あいちビジョン2020」、「しなやか県庁創造プラン（愛知県第六次行革大綱）」、「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「あいち重点政策ファイル300プラス1」などの県のビジョン・戦略等に示された、地域の諸課題に対して、最新のICTの技術を積極的に活用することで「あいちビジョン2020」の「めざすべき愛知の姿」の実現を支えていくことを基本方針とし、各計画で定めた具体的な目標の達成を支援することで、「日本一の元気を暮らしの豊かさに」の実現を目指しています。

28年度以降は、この「あいちICT戦略プラン2020」に沿って、本県が取り組むべき以下の4つのテーマが抱える課題について、最新のICTの活用による課題解決を図るため、戦略的に施策を展開していきます。また、この戦略的取組の前提となる「データ社会への対応」についても行っていきます。

- I 観光・交流拡大
- II 産業革新
- III 暮らし安心・安全
- IV ICT基盤強化

## **(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧**

### **愛知県庁本庁舎（国重要文化財）の紹介（360° パノラマビュー）**

<http://www.pref.aichi.jp/360/>

360° パノラマビューで国の重要文化財である愛知県本庁舎を紹介しています。

### **ワクワクあいち**

<http://www.pref.aichi.jp/joho/wakuwaku/>

愛知県の魅力を動画、写真、イラストで紹介しています。

### **あいちはぐみんネット**

<http://www.pref.aichi.jp/kosodate/hagumin/>

愛知の子育て支援情報について紹介しています。

### **あいスポ**

<http://www.aichi-sports.jp/>

本県のスポーツ大会情報や、スポーツ施設、スポーツ合宿地等を紹介しています。

### **愛知県オープンデータカタログ**

<http://www.pref.aichi.jp/life/7/>

愛知県が所管する情報の提供サービスを行っています。

### **愛知県 X バンド MP レーダ雨量情報**

<http://www.kasen-owari.jp/index.html>

局地的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）や集中豪雨による下流域への警戒に役立つ実況観測のための情報を提供しています。

### **あいち AED マップ**

<http://aed.maps.pref.aichi.jp/>

AED の説明や、愛知県内における AED の設置場所を紹介しています。

### **あいちの学校連携ネット**

<http://www.gakkourenkei.aichi-c.ed.jp/index.html>

県内の各大学が行う高校生向け講座や教員免許更新講習・教員向けの公開講座などの情報や、小・中学校等の学校現場で学習支援などを行う大学生や教員研修・共同研究に協力いただく大学教員との連携の募集案内などを掲載しています。

### **PLAY! AICHI 特派員・地域特派員**

<http://www.pref.aichi.jp/joho/wakuwaku/movie/index.html>

愛知の観光スポットや特産品、文化芸術などを動画で紹介しています。

## アンキーくんとシーベルちゃん（あいちの地域安全）

<https://www.facebook.com/chiikianzen>

愛知県の安全なまちづくりに関する情報や、交通安全に関する情報を発信するフェイスブックページです。

## 愛知の引力。

<http://www.pref.aichi.jp/koho/aichi-inryoku/>

「技。」「景。」「躍。」「文。」「史。」の5つのテーマに関する美しい映像で、愛知の魅力を紹介しています。

## こってり愛知 de 首都圏

<http://kotteri.jp/>

大村知事をモデルに新たに制作した愛知県観光PRキャラクター「ひでっち」が登場し、なごやめしを始めとする愛知のグルメや県産品、観光スポットなどの愛知の魅力を楽しく紹介します。

## Introducing Aichi: A series of videos by foreign students

<http://www.pref.aichi.jp/global/en/other/videos.html>

外国人留学生在が本県のモノづくりの現場や大学、生活環境取材して、本県の様々な魅力を国内外に発信しています。

## タイ語での愛知県ウェブサイト

<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/thai/>

タイ語で愛知県の情報を発信しています。

## 貴重和本デジタルライブラリー

<https://websv.aichi-pref-library.jp/wahon/index.html>

愛知県図書館の貴重書庫に保管されて、閲覧には特別な手続きが必要な貴重和本を公開しています。

## あいちは、あいちで、いただくぜ！

<http://www.pref.aichi.jp/nourin/iitomo/>

あいちの旬の農林水産物や産品、取組等を一元的に紹介しています。

## ロココロあいち

<http://lococoro-hotfurusato.com/>

愛知県で活躍するNPOや市民グループの活動情報を紹介しています。

## あいちスポーツコミッション

<http://aichi-sc.jp/>

本県のスポーツ施設情報や、スポーツ大会開催実績等をスポーツ大会の主催者向けに紹介しています。

## 愛知県 ITS 推進協議会

<http://www.pref.aichi.jp/kotsu/ITS/>

ITS の説明や ITS をテーマにしたイベント等を紹介しています。

## あいちベンチャーハウス

<http://www.venture-house.jp/>

インキュベーション施設「あいちベンチャーハウス」の Web サイトです。

## 愛知県警 ～サイバー犯罪防止講話のご紹介～

<http://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/boushi.html>

県警によるサイバー犯罪防止講話の案内と予約方法について掲載されています。

## あいち ICT アクションプラン 2015 年次レポート (2015 年度版)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/0000085687.html>

27年度に策定した年次レポートです。